

上下浜学校の歴史（その1）

- 明治7年（1874年）、上下浜で寺子屋だった建物を借りて小学校を開いた。
- 明12年（1879年）、六つの村が合併し、「犀浜（さいはま）村」となったため、名前が「犀浜村々立上下浜尋常小学校」となった。
- 明治26年（1893年）、上下浜沖山に新しい校舎を建てた。2階建てで、教室は四つしかない小さな学校だった。
- 明治32年（1899年）、犀浜村が柿崎村に合併され、校名が「柿崎村々立上下浜尋常小学校」この時の児童数は、161人だった。この年、役所から近くの学校と合併するように命令が出た。

しかし、
大反対！

- 冬の柿崎橋は危険で、低学年の子どもにとっては、命がけ。
- 集落から学校が遠くなるため、弟や妹をおんぶしてきている子は、お乳を飲ませるために、そうそう、行き来できないから、学校に通えなくなる。

上下浜学校の歴史（その2）

- 明治40年（1907年）、小学校が4年制から6年制になったことから5・6年生の教室を新たに作ることと広い運動場が必要になった。
- 明治42年（1909年）、校舎の移転と増築を決定。

大変な苦勞をして
人の力で引いた！

2ヶ月以上かけて
引っぱってきた！

やっとの思いで
目的地に着いた！

移転が完了した夜
大風で校舎が
つぶれてしまった！

これまでの努力も工事に使ったお金もすべて無駄に

合計500円の
借金が残った！

新しい
学校は完成した！

仕事をしながら
建てた！

学校の再建を
決意！